

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

ユーロ圏のアリさんとキリギリスさん ～EU復興基金の行方～ (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 田中 春菜

今週のドル円予想レンジ **106.00 ~ 107.50**

りそなWEEKLY COLUMN

新型コロナウイルス環境下でのSDGs投資 (P3)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 野瀬 大史

- **すっかりお馴染みとなったSDGs。SDGsに取り組む企業の企業価値が向上**
- **社会の風潮や経済環境が大きく変化していくと思われる中で、人々や社会が必要と考えるSDGs関連企業への投資は有力な選択肢**

2020/7/13

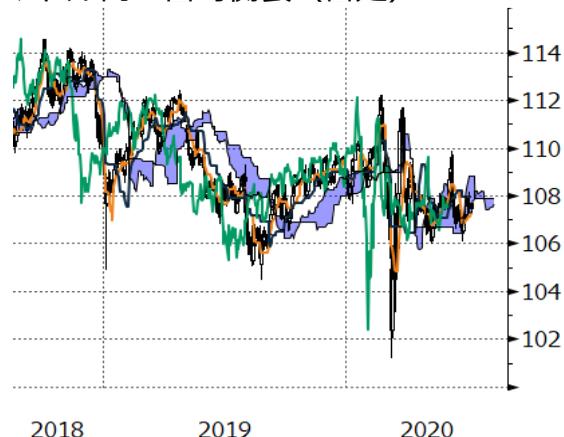
りそな外為レポート

ユーロ圏の阿里さんとキリギリスさん ～EU復興基金の行方～

今週のドル円予想レンジ **106.00 ~ 107.50**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

新型コロナで世界経済が打撃を受ける中、各国は次々と財政出動を執行。それはユーロ圏も例外ではなく、ドイツ・フランスが共にこんな提案をしてきた。「ユーロ圏のみなさん、新型コロナで打撃を受けた経済復興のために、我々は復興基金を設立しましょう！規模は7,500億ユーロです（約91兆円）！基金の大半が返済不要の補助金で、残りを返済が必要な融資にしようと思います！」

珍しく阿里さん代表のドイツが賛成した為、設立は早期に合意されるものと期待が高まったのも束の間、阿里さんグループ4ヶ国オランダ・オーストリア・デンマーク・スウェーデンが同基金に強く反対してきた。「え！？なんで我々がキリギリスさん（南欧諸国）の生活の面倒も見なきゃいけないんですか！NOですよ！」・・・遂に今まで慎ましかった阿里さん達がキレてしまった。おそらく阿里さん仲間の英国も離脱し、我慢の限界が来たのであろう。今週17-18日のEU首脳会議でコロナ下初の対面ミーティングが控えている。阿里さんとキリギリスさん、ファーストラウンドの始まりである。

(カスタマーディーラー 田中春菜)

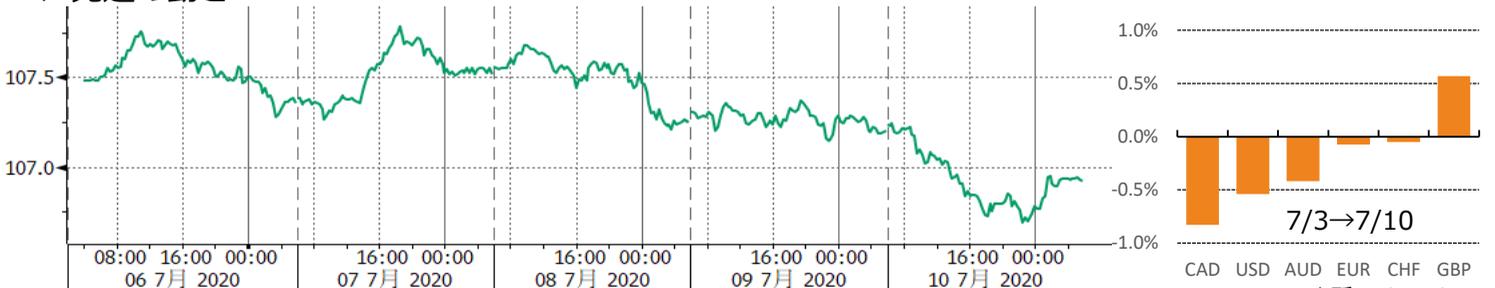
◆今週の日程

14日(火) 日 日銀金融政策決定会合	16日(木) 欧 ECB理事会(結果発表)
14日(火) 中 6月貿易統計	17日(金) 米 6月住宅着工・許可件数
14日(火) 米 6月CPI	17日(金) 米 7月ミシガン大消費者信頼感指数
15日(水) 米 米地区連銀経済報告	17日(金) 欧 臨時EU首脳会合(17~18日)
16日(木) 中 20/2Q GDP	18日(土) 他 G20財務大臣・中央銀行総裁会議

◆今週の予想 (ドル高 強い↑ 普通↑ ドル安 強い↓ 普通↓) NY引け値 7月10日(金) 106.93円 VS 7月17日(金)

東京									大阪			埼玉				
井口	中根	湊	小新	鳥井	田中	浦本	中里	伊藤	鈴木	武富	野瀬	小林	津田	石井	伊藤	佐藤
↑	↓	↑	↓	↑	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↓	↑	↓	↑	↓

◆先週の動き



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2020/7/13

りそな WEEKLY COLUMN

新型コロナウイルス環境下でのSDGs投資

- すっかりお馴染みとなったSDGs。SDGsに取り組む企業の企業価値が向上
- 社会の風潮や経済環境が大きく変化していくと思われる中で、人々や社会が必要と考えるSDGs関連企業への投資は有力な選択肢

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 野瀬 大史

SDGsへの取り組み

最近では、テレビや新聞、インターネットなどのメディアで、「持続的な開発目標」を意味する「SDGs (Sustainable Development Goals)」という言葉がすっかりお馴染みとなりました。

具体的にSDGsを導入している企業は、どのような取り組みを行っているのでしょうか。2020年ダボス会議では、SDGsの目標達成に貢献している世界の企業100社をランキング形式で発表しており、日本企業は積水化学工業、武田薬品工業、コニカミノルタ、花王、パナソニック、トヨタ自動車の合計6社が選ばれています。

日本企業で最上位の12位に選ばれている積水化学工業では、特に環境に対して「エコロジーとエコノミー」の両立を掲げ、温室効果ガスの削減を行うべく、太陽光発電と蓄電池を備えた省エネ住宅という環境貢献製品を作り出しています。

他にも花王では、消費者にとって使いやすい詰め替え用のトイレタリー製品を開発したことで、詰め替え用の購入者が増え、約74%のプラスチック使用料削減に成功しています。さらに、使い終わった後の詰め替えパウチの新たなリサイクルについての研究も行っています。

また弊社では、融資業務において石炭火力発電事業にかかるプロジェクトファイナンスは、災害時対応などの真にやむを得ない場合を除き新規融資を行わないことや、銀行私募債発行の際にSDGs関連団体に寄付を行うSDGs私募債を発行させていただく等の活動を行っています。

コロナ禍におけるSDGs

新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るう中で、SDGsはますます重要度を高めていくと考えています。なぜなら、現環境下では短期的な企業業績維持に注力されやすいことから、中長期的な視野を持ち続け環境問題等にも積極的に取り組む企業はさらに注目されるはずだからです。

トヨタグループは、トヨタ自動車、ダイハツ工業、日野自動車などのグループ各社においてこれまでも積極的な社会貢献を実施していますが、新たに医療現場や医療用品への支援を表明しています。具体的には、技術力を生かした医療用フェイスシールドの生産、ノウハウを生かした医療機器メーカーの生産性向上への協力、サプライチェーンを生かしたマスク等の調達支援が挙げられています。

りそな WEEKLY COLUMN

また、今回の新型コロナウイルス感染が拡大するにつれ、マスクや手袋、使い捨て容器などの感染リスク軽減を目的とした商品の使用量が増加しています。それらのアイテムは頻繁に取り換えられているため、エコロジカルな状況とは対極に位置しています。従って、このような状況に対して適切な対応策を導入できた企業は、さらに企業価値を高めることに繋がっていくでしょう。

具体的に対応している代表例としては、ミズノが挙げられます。トヨタ同様、SDGsに積極的な取り組みをしており、水着や陸上ウェアに使用している伸縮性に優れた素材をマスクに使うことで使用者の使い心地に加えて、使い捨て問題にも対応の出来る商品を販売しました。この商品は非常に人気が高く、即日完売となるほど好評を得ています。

上記のように、コロナ禍においてSDGsに取り組んでいる企業の価値が上昇しているのか、実際にSDGs関連の企業株価を見てみましょう。

ここでは、SDGs企業株価の代表例として、三井住友DSアセットマネジメント社が運用している『グローバルSDGs株式ファンド』（以下、SDGsファンド）を見ていきます。

SDGsファンドは合計59銘柄で構成されており、下表SDGs項目欄はSDGs17の目標のどの項目に該当しているのかを示しています。

	銘柄名	国	業種	比率	SDGs項目※
1	マイクロソフト	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.2%	5,8,9
2	ロシュ・ホールディング	スイス	医薬品・バイオテクノロジー	3.6%	3
3	アジレント・テクノロジー	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	3.3%	3
4	セコム	日本	サービス業	2.8%	3,11
5	ノースランド・パワー	カナダ	公益事業	2.7%	7
6	積水ハウス	日本	建設業	2.6%	11
7	ユニリーバ	オランダ	家庭用品・パーソナル用品	2.5%	3,5,6
8	ノボ・ノルディスク	デンマーク	医薬品・バイオテクノロジー	2.5%	3,5
9	メドトロニック	アイルランド	ヘルスケア機器・サービス	2.5%	3
10	ザイレム	アメリカ	資本財	2.4%	6,9,11,12,14,15

出典)三井住友DSアセットマネジメント(基準日2020年5月29日)

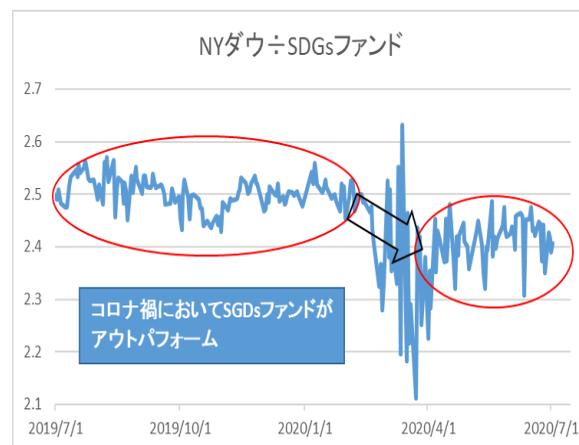
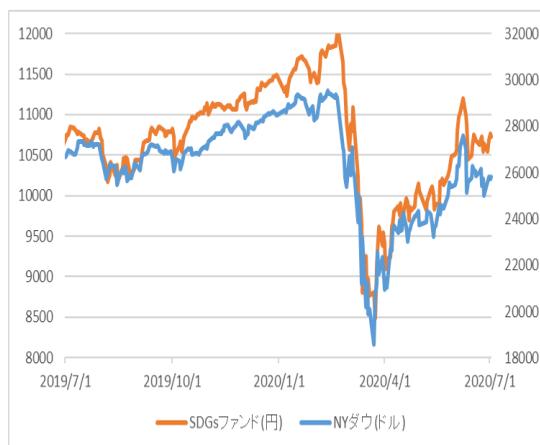
※SDGs 17の目標	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレと世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう
-------------	-----------	----------	----------------	---------------	-----------------	-----------------	-----------------------	--------------	-------------------	-----------------	------------------	----------------	-----------------	--------------	--------------	-----------------	----------------------

◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。



りそな WEEKLY COLUMN

左下図はSDGsファンドとNYダウの直近1年間の推移、右下図は両株価のパフォーマンス比較する為に、NYダウをSDGsファンドで除したものです。



出典)Bloombergより作成

上図より、新型コロナウイルスの感染が拡大した3月以降にSDGsファンドがNYダウに対してアウトパフォーマンスし始めたことがわかります。これは、コロナ禍において、医療・健康・福祉だけでなく、自然環境等にも注目が集まったためでしょう。今後も、社会の風潮や経済環境が大きく変化していくと思われる中で、人々や社会が必要と考えるSDGs関連企業への投資は有力な選択肢の一つと考えています。

